

平成27年度 第3回井口地域審議会会議録

- 1 開催日時 平成28年1月12日(火)午後1時30分から3時00分まで
- 2 開催場所 南砺市井口行政センター(2階)特別会議室
- 3 出席委員 9名 林 則雄、中山秀一、小林加津實、北村英男、池田淑則、中山清貴、柳田由紀、吉田しのぶ、高野芳美
- 3 欠席委員 3名 吉田治夫、塚崎 貢、林真寿美
- 4 市側出席者 長澤市長政策室長、上口行革・施設再編課長、石崎施設再編係長、山崎井口行政センター長、山田井口行政センター次長
- 5 傍聴者 なし
- 6 協議議題 公共施設再編計画(素案)について
- 7 会議経過

○開会

山崎センター長から開会の宣言と吉田委員、塚崎委員、林委員の欠席報告を行う。

○会長挨拶

林会長より開会の挨拶。

○協議議題

林会長が議長となり議事を進める。

公共施設再編計画(素案)について

(長澤室長から資料1により説明)

(上口課長から資料2により説明)

(議長) 質問やご意見はあるか。

川上中地内の椿公園の研修棟は譲渡が出来なければ解体となっている。その公園の下に駐車場があるが、研修棟が解体となったら、その駐車場は現状復帰して地権者に返すのか、あるいは、譲渡となったらその駐車場のあり方はどうなるのか。

(長澤室長) 購入したいと言われれば、簿価で譲ることになる。土地は市有地ならいいが、借地の場合、譲渡を受けた方がそれからの地代を払っていただくことになる。必要なければ契約を打ち切る事になる。

(委員) 研修棟は山の上にあるが、その下には様々な方がオーナーとして出資して集まったお金で椿が植えられている。一昨年、市から駐車場を農地に現状復帰して地権者に返したいと話があったが、椿の園はオーナー制で勝手に潰せないと思うし、椿公園にこられた方は路上駐車してもらうことになるという話になり、結果的に対象とするのは研修棟だけで、前回の地域の要望が反映されていると私は理解していた。椿公園と駐車場の借地を現状復帰するという話になれば今までの話と違ってくる。そういう経緯があったということをご理解願いたい。

(長澤室長) 公共施設再編計画は建物を中心に話を進めさせていただいている。そのようなより具体的な話をご相談をさせていただくが、椿公園は残すということなので駐車場も残すことになる。利用されていない施設だけを売却あるいは解体させていただくことになる。

(議長) 赤祖父レイクサイドパークの施設は譲渡となっているが、土地も含め譲渡になるのか。

- (長澤室長) 基本的には土地まで譲渡しない考えである。
- (議 長) 市で維持管理していくのか。
- (長澤室長) 公園は市で管理するが、建物の下地は有償か無償になるか貸付をしていく。ただ、土地もが購入するという話になれば相談させていただく。場所にもよるが、このような公園内にある施設用地は転売されるとどうなるか分からないので、施設については譲渡の対象とし、受けられない場合は速やかに解体し公園として管理した方が今後のために良いのではないかと考えている。
- (委 員) 2点聞きたい。保育園の説明の中で、指定管理や民間委託の話があったが、それ以外に存続という話はないのか、規模によっては民間委託は難しいと聞いたがどう考えているのかを聞きたい。2点目は、学校の方針で、今回初めて短期に小・中一貫校の話が出てきたが、その進捗状況を教えて欲しい。
- (長澤室長) 保育園の民営化や指定管理については、反対意見が多かったのが現状維持の形を考えていたが、今後どのようにしていくか保育園審議会を立ち上げ議論していくという形になったので、そこで結論が出されると思う。ただ、保育園を統合する時に、民営化も踏まえ考えるという大前提で進んでいた。以前 250 名規模のものでないと収益が出ないと話をしてきたが、今の意見では小さい規模の方が民営化に適しているという意見もある。保育園については専門のところで検討いただくということで再編計画ではこのような扱いにさせていただいた。審議会がどのような結論を出すかによって再編計画の見直しの時に決めていくということになる。また、学校については、本当なら教育委員会で検討し実践するという言葉を入れたかったが、このような書き方になった。これを受け教育委員会では実践に向け検討を進めていくと思う。それこそ一貫校として改築することで、不要部分を解体する話もできる。
- (議 長) 先般、校長先生とその話をしていたが、あまり違和感なく話を聞いていただいたと受け取っている。そういった意味では、5年の期間の中で教育委員会がどのような審議をして準備をされるか。地域要望として発信もしており理解はしていただいていると思っているので、スピード感を持って進めていただきたい。
- (委 員) 前回の審議会の時に聞かせていただいたが、古い部分を壊して必要なものを増築し、それを機会に図書館や児童館なども整備していくという話に期待をしている。
- (長澤室長) 地元の議員さんからも一般質問で市長の考えを聞きながら進めていかなければいけないのかなと思っている。ただ、県の教育委員会があまり積極的でないらしく、スムーズに進まないというところがあるので、地元から強く要望していただくことが必要になってくる。井口だけ学区指定を止めたらどうかということも合わせて投げかけているが、なかなか現状は難しいようである。複式という話があるのなら、定員を決めて選考もし、しっかり出来るような意見も内部では話しているが、常にそういうことを地域の方や振興会、保護者の方からも投げかけていただきたい。
- (委 員) 私にも小中学生の子どもがいるが、今の小・中一貫校の話が進んでいるという話を初めて聞いた。そのことは保護者に周知されているのか。
- (議 長) この件に関しては、複式学級の話があったときに、その規制を緩和して欲しいと地域の要望として話をしていたことがスタートだった。教員が減ることは困るが、講師でもいいので単一クラスと同じように先生の確保を要望していた。近い将来には、中学校にもそういうことが起きるといった話である。井口では現在小・中で先生

の交流を行っているが、そういった環境がどんどん出てきている。また、現実に他地域から通学している生徒もいるが、制度上の学区の問題も残っている。そういったものを無くし、自由に来てもらえる学校にならないのかという話に徐々に進んでいる。そんな中、前回の出前市長室で、そういうことが出来ることから、自由な発想で教育環境を伸ばしていきたいという話があった。

(委員) 以前保護者アンケートを取らせてもらったこともあり要望はしていたが、そこからどのように進んでいるか知らない人が多くいると思う。私のイメージでは、小・中一貫校とそれがまだ結びつかない。一貫校をスピーディーに進めなければいけないという話であったが、一度、状況を皆さんにお知らせする機会があればいい。

(議長) 自治振興会でもこのような情報はどんどん提供していくし、学校推進協や学校だよりの中でも出していただいてもいいのではないかと思っている。保護者の皆さんや地域の皆さんと情報共有を図っていかないと意見も出ない。

(委員) 伸び伸びした現在の環境が良いのに、この記載してある文字だけ見ると厳しく変わっていくのかと不安を感じた。

(議長) 今の教育環境をもっとフランクに、そしてオープンにしたい。その上で学校が成り立っていけばいいという思いがある。

(委員) 皆さんにお知らせしたいという思いもあったが、どこまで話をすればいいかははっきりしなかった。今回このような資料が出て、小・中一貫校ということが出せるようになったので周知していこうと思っている。

(長澤室長) 建物を減らし経費を削減していく立場としては、小・中一貫校とまでしか書けなかった。どちらか1つの建物だけなら面積は半分に削減できるのではないかということである。公共施設再編計画ではそういう書き方になっているが、一貫校にしただけでは生徒数は増えない。一貫校にすることは、カリキュラムを9年生に組み直すことで、どこからでも入学できるような学区の見直しをすれば残せるのではないか。地域に学校を残すためにはどうあるべきか、ということから一貫校の話が出てきている。井口は地理的にもいい場所なので、平野部にも小規模校は必要だと思っており、特徴のある小・中一貫校が良いのではないかというイメージで記載させていただいているところもある。言われるように、保護者の方が全く知らないということになると、この方針がどうなのかということにもなる。

(山崎センター長) 出前市長室でも何回か取り上げているので、全く関係者の方が知らないということはないが、全ての人に行き渡っていないのが現状かもしれない。

(議長) 皆さんには機会を通じて情報共有をさせていただきたい。基本は学校をどう残していくかということであり、決定事項ではないが再編計画にうまく乗ってそのような表現になっているというようにご理解して欲しい。

(長澤室長) 前回の説明会でも聞いていたので、小・中一貫校を「検討」ではなく「実行する」に修正しなければいけないかと思っていたが、今の話を聞くと保護者の方にはそこまでの認識は無いようなのでこのイメージで良かったのかと思う。いずれにしても、地元ではどうしても小中学校は残す、そして、現に他地域の生徒も通っており、学区が本当に必要なのかということも訴えるべきでないかと思う。富山市では学区が無く、教育委員会ではできないという話にはならない。

住民説明会でも話していたが、温泉や屋内グラウンドについては、27年度を基準

にして5年間の間に3割減少しなければ、次の見直しも維持で進む。実績などを施設に張り出すので、更に施設を利用していただきたい。

(委員) 井口ふれあい公民館は、実際公民館として活用しているのか。

(山崎センター長) 公民館指導員等は、行政センター内で事務をしているので、ふれあい会館内での活動はしていない。

(委員) もし、庁舎が無くなってしまったら、公民館として使っていくことになるのか。

(山崎センター長) ふれあい会館は残るので、公民館機能の拠点となるだろう。井口の場合は大きな施設を持たなくても、そういう施設を利用して様々な機能を持たすことも今後できるかと思う。

(議長) 行政センターから地域包括課が出るので、イメージとすれば、郵便局や商工会など複合的に使う環境の中で公民館の活動が出来るスペースをとるとかこれから考えていけると思っている。この計画の中には、井口の消防団の屯所が入っていない。そういった意味では屯所の機能も有効活用できないかなど、これからの再編の中で、地域の意見を集約していけば、よりまとまった活用方法が出てくるのではないかという気はしている。

(長澤室長) 庁舎のあり方については、3月議会で市長が方針を発表する。今回検討しているのは、町部の庁舎を増築する方法、又は新たな場所に総合庁舎を建てる方法である。検討案には、井口の庁舎を建て増すことは入っていないので、窓口機能は残すが建物は残らないということになる。そうすると、民間の方に入ってもらって、有効利用していくのが一番であり、複合利用ができなければ、公民館部分以外は解体せざるを得ない。屯所の部分も含め決めていただくと有効に使っていただけるのではないかと思う。

(委員) 利賀は民間に譲渡してからなのか。

(長澤室長) 家賃を払って入っていただくことになる。農協は新たに建てることはしないので、行政センターを改修し入れるようにし、その改造費も勘案した家賃を払っていただくという流れで進んでいる。

(議長) その他にご意見はあるか。

(長澤室長) 井口地域の再編計画の素案についてこの審議会です承をもらえないか。

(議長) 先の住民説明会の感触では、内容について概ね皆さん理解できるという雰囲気だったと記憶している。ご意見がある方はここで是非言ってほしい。

(委員) 内容は概ね良いが、今後各地域で会議があり、数多くあるその地域の変更意見を簡単に通してしまうようなことがないようにしてほしい。

(長澤室長) 全く無いとは言えないが、全体で1~2くらいの修正で済むようにしたい。5億2千万を5年間で積んでいくということは市としても苦しいし、どこかを残すという話になると維持費が1~2千万更に積み上げる話になるので、余程のことがない限りこの素案で各地域にご理解をいただきたい。5年後には必ず見直しをするのでそこまではご協力いただきたい。

(委員) 今回の計画は、30年後を目指した方針と明記してあり、分かりやすくなっていると感じる。施設を集約していくのは良いが、ただ単に減らしていきただけなら地域バラバラに施設が残っていきただけになってしまう。南砺市として施設をどのように各地域に振り分けるか、大規模施設はある程度それぞれの地域に集中させていくのが

良いのではないか。5年後の見直しまでに、南砺市としてスポーツや文化、医療施設など関係施設をどの地域に集約していくか計画を検討すれば良い。

(長澤室長) 例えば文化ホールは市内に3館あるが30年後には1つにするとやっている。それがどこかはまだ決められない。体育施設も各地域に1～2ともやっている。主要な1施設残していくとか全て無くして大きな施設をまとめて1つ建てることも考えられる。そういった議論を、30年後を見越して全て決めるということは、基本的に難しい。しかし、それが5年後10年後に具体的にどこの施設のことかということを見直しのときに明確にしていかなければいけない。現在の施設を永遠に残していくということとはできない。また、耐用年数が来たものから順番に解体していったら全て1つの地域にだけ残っていったというのも都合が悪い。統合していく施設には位置取りも考えなければいけない。総合施設を全て市の中心部に集中して建設していくわけにもいかない。言われることは分かるが、今の時点では決めづらく明記できないということをご理解願いたい。

(委員) 井口の椿ヶ丘団地も統合となっているが、現在住んでいる方は将来どこかに行かなければいけないのか。

(長澤室長) 市営住宅については平成28年度にまちづくり計画を策定する。耐用年数は来ているが10年間は住んでいただこうと考えており、譲渡という考えも無い訳ではない。1戸建ての住宅は譲渡となっているところもある。

(議長) こういう団地や集合住宅もあるが、空き家の発生状況も踏まえ今後のまちづくりを考えなければいけないと思う。空き家の活用対策もされているが、28年度の計画策定がどのように進んでいくかはこれから議論がされ、維持できるものは維持しつつ、そうでないものは統合というイメージを考えればいい。

(上口課長) 耐用年数の長いものは維持していくが、10年は住んでいただきその間に耐用年数に来るものについては計画の中で検討していく。民間の住宅もあり、需要と供給のバランスを見ながら計画していく。

(委員) 井口の屋内グラウンドを一昨年作っていただき、今回現状維持とされ安心しているが、5年間に利用者が3割減少した場合、次回整理の検討対象になるということか。

(長澤室長) このように記載してあるのは、そうならないよう利用して欲しいということ。27年度の利用実績に対して減少しないようにして欲しいということなので、整理したくてそう記載しているわけではない。

(議長) 現実に井口の屋内グラウンドは地域外からも利用している。スポーツ振興という観点から、子どもから高齢者までの利用をPRしつつ、体協やスポーツクラブが連携しPRすることで利用度も更に上がるのではないかと思う。残っていくように皆様のご協力をお願いしたい。

(長澤室長) 特に温泉施設は利用者が減りつつある。指定管理者も利用者を増やす努力をしていないとは言わないが、意識していただくためにも3割としている。人口減少を勘案しても3割は結構大きな数字である。5年間で3割減少にならないようにするのは頑張れば何とかできる数字であり、そのあたりを周知していきたい。また、指定管理者の方にも利用者増につながることを近々に考えていただきたい。

(議長) それでは、公共施設再編計画(素案)について概ね原案どおりでよろしいか。

(一 同) 了承

(議長) それではこれで市には進めていただき、今後変更や、委員の皆さん方へ地域の声が集まれば行政に情報提供をお願いし、再編に活かして頂きたい。その他何かご意見はあるか。無ければ以上で議事は終了する。

○閉会

(山崎センター長) 閉会にあたり中山副会長より挨拶をお願いする。

○副会長挨拶

中山副会長より閉会の挨拶。